

令和5年5月10日(水)

## 予習の役割

今日は、予習の役割について考えたいと思います。

- 1 予習をすることで、次の授業でどのような内容を学ぶのか、見通しがつくので、授業中、先生の説明をほかの人よりも早く理解できます。
- 2 予習をすることで、「先生に質問されても大丈夫だ」という自信をもつことができます。ですから、落ち着いて授業を受けることができます。
- 3 予習をすることで、自分の分からない箇所がはっきりしています。分からないところの学習では、特に授業に集中でき、熱心に勉強できます。また、ノートにとることもできます。
- 4 予習をすることで授業の見通しが立ち、理解も早くなります。そして、教師の説明の要点をしっかりと頭に入れることができ、ノートにとることもできます。
- 5 予習を十分していると、授業後に復習する時間が短くて済みます。

予習の仕方を具体的に説明します。

まず、教科書で今度学習する箇所を読みます。分からない言葉などが出てきたらを辞書で調べましょう。

次に、問題を解いてみましょう。

予習で分からなかったこと、知りたいことなどを、ノートにメモしておきましょう。授業中は、そこをしっかりと聞き、それでも分からなかったら、先生に質問して聞きましょう。